

1. 平成 28 年の水害被害額の概要

【被害の特徴等】

◆水害被害額は、全国で約 4,670 億円

◆都道府県別の水害被害額上位 3 県は、以下のとおり。

- 1 位：岩手県（水害被害額：約 1,680 億円）
- 2 位：北海道（水害被害額：約 1,650 億円）
- 3 位：鹿児島県（水害被害額：約 190 億円）

◆主要な水害による水害被害額及び概要

○平成 28 年台風 10 号（水害被害額：約 2,824 億円）

（平成 28 年 8 月 28 日～31 日に生じた台風第 10 号による被害額）

- ・岩手県では、多量の土砂や流木を含む洪水により、河川沿いの狭隘な低平地の大部分が浸水したことや記録的な集中豪雨による急激な水位上昇に伴い、小本川沿川の要配慮者利用施設などで逃げ遅れによる被害が発生した。
- ・北海道の石狩川水系空知川では、堤防決壊で南富良野町の市街地が浸水し、多数の床上・床下浸水が発生した。

○梅雨前線豪雨（水害被害額：約 406 億円）

（平成 28 年 6 月 18 日～7 月 5 日に生じた梅雨前線豪雨による被害額）

- ・梅雨前線に伴う大雨により、熊本地震で地盤が緩んでいた熊本県内では、土石流やがけ崩れ等が発生した。
- ・九州地方整備局管内の緑川水系、白川水系、六角川水系、菊池川水系の 4 水系 6 河川において氾濫危険水位を超過し、筑後川水系花月川において堤防護岸が約 30m にわたって損傷した。



逃げ遅れによる被害が発生した岩手県岩泉町の要配慮者利用施設



死者が発生した熊本県宇土市住吉町のがけ崩れ